



25 葉っぱのしおり

青森県立種差少年自然の家

○活動の概要○

葉っぱや花を電子レンジで乾燥させ、ラミパックしてしおりをつくります。

1 ねらい

身近な植物を使ってしおりをつくり、創作の楽しさを味わうとともに、自然に対する関心を高めます。

2 場所・人数・期間・時間

- ① 場所・人数 採集場所：自然の家周辺 (1 グループ 4～8 人程度)
製作場所：自然観察室 40 人以内 (電源多)、大ホール 50 人以内 (電源少)
小ホール 40 人以内 (電源少)
- ② 期間 5～10 月 (ただし、葉や花を持参できれば通年で可能)
- ③ 時間 2 時間

3 職員の支援について

物品貸出し時に職員がつきます。活動支援に入ることはありません。

4 準備物

区 分	準 備 物	備 考
団 体	・ 葉	
個 人	・ 特になし	
自然の家	・ 電子レンジ ・ ラミネーター ・ 押し花セット ・ 穴あけパンチ ・ ハサミ ・ ピンセット ・ 軍手	・ 同時に 2000W まで使用可能
斡旋可能	・ 葉っぱのしおりセット (千代紙 1、ラミネートフィルム 1、リボン 2、 のり、色鉛筆)	・ 1 セット 30 円

5 引率者の役割分担

係 名	役 割
代表責任者	・ 全体の掌握、指揮、連絡にあたる。
救護係	・ 緊急時の救護にあたる。

6 活動の流れ

- ① 用具の準備と諸注意
- ② 葉の採集
- ③ つくり方の説明
- ④ 製作
- ⑤ まとめ・片づけ

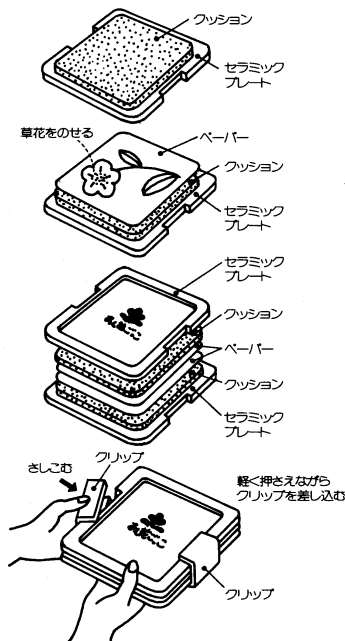
7 その他

- ・野外で採集を行う場合は、必ず実地踏査をしてください。
- ・それぞれの部屋で同時に使用できる電子レンジ（1,300W）は2台までです（一つの回路で1台）。ラミネーターも含めて同じ回路内で合計2,000W以上を使うと、ブレーカーが落ちます。
- ・加熱時にやけどをしないように注意してください。

《資料》葉っぱのしおりの作り方

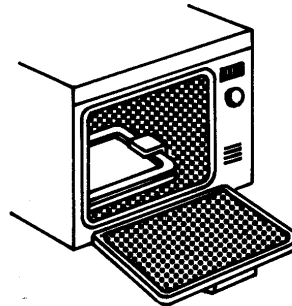
1 葉っぱ（花）の押し花を作る。

(1) 押し花ごっこに葉っぱをはさむ。



(2) 電子レンジに入れて加熱する。

- ・メモリを強にして1分30秒～2分。
- ※葉によって異なるので、様子を見る。

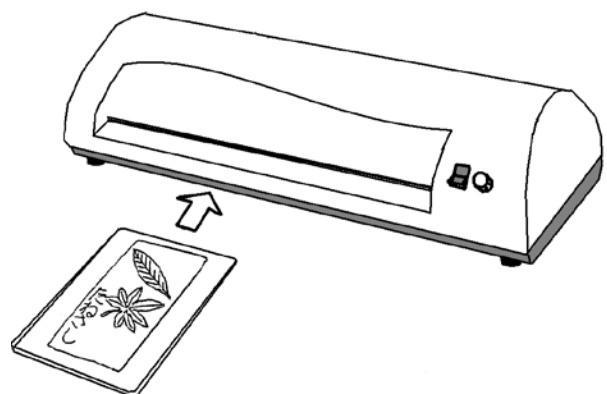


2 しおりを作る。

(1) 台紙に葉っぱをのせ、のりで仮止めする。



(2) ラミネートフィルムに台紙をはさみ、ラミネーターを通して加熱する。



3 リボンをつける。

- ・パンチで穴をあけてリボンを結ぶ。





26 焼板クラフト

青森県立種差少年自然の家

○活動の概要○

まきで火をおこし、杉板を焼きます。焼板をたわしや布で磨いてきれいな木目の板をつくります。

1 ねらい

仲間と協力して火を起こし、焼き板を製作する活動を通して、自然物のもつ美しさを感じさせます。

2 場所・人数・期間・時間

- ① 場所・人数 キャンプ場（かまど） 120人以内（1グループ5人程度）
- ② 期間 通年
- ③ 時間 2～3時間

3 職員の支援について

物品貸出し時に職員がつきます。活動支援に入ることはありません。

4 準備物

区 分	準 備 物	備 考
団 体	・マッチ ・新聞紙 ・作品を入れる袋	
個 人	・野外活動に適した服装（長袖、長ズボン） ・帽子、タオル等 ・軍手 ・布きれ、ビニール袋 ※必要に応じてマスク	・すべり止め付きは不可
自然の家	・たわし ・火バサミ ・チャッカマン ・十能 ・ほうき	
斡旋可能	・杉板 ・まき（1束で3グループ分）	・1枚 60円(並) 90円(大) ・1束100円

5 引率者の役割分担

係 名	役 割
代表責任者	・全体の掌握、職員との連絡調整にあたる。
救護係	・緊急時の救護にあたる。

6 活動の流れ

- ① 用具の準備と諸注意
- ② つくり方の説明
- ③ 製作
- ④ まとめ・片づけ

7 その他

- ・用途に応じて、穴をあけたり、くさりやひも等で装飾したりすれば、置き物、壁飾り等として活用することができます。
- ・アクリル絵の具で絵付けをすることができます。（ただし当所では斡旋しておりません。）
- ・他団体の利用状況によってかまどが使えない場合には、一斗缶を使用して営火場で行うことができます。

※活動日程の都合上、絵付けについては、実施しない団体がほとんどです。

※火を使う活動なので、すべり止め付き軍手は溶ける可能性があります。

《資料》焼板の作り方

①



②



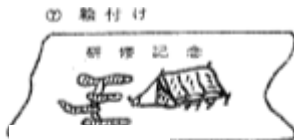
③



④ 布きれでよくふき取る

※⑤以降については持ち帰ってからの活動になる場合がほとんどです。

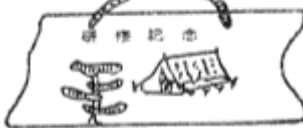
⑤



⑥ 乾燥

⑦ 完成

⑦



① まきに火をつける。

- ・ 風向きやまきの組み方に気をつける。

② 杉板を焼く。

- ・ できるだけ裏表とも均等に焼く。焼き過ぎると板が反ったり、形がくずれたりする。
- ・ 板の角や横の部分をよく焼くようにすると、やわらかな線が出る。
- ・ 板を焼いて赤くなっている、水をかけたり、たたいたりしない。

③ 黒く焼けた炭の部分をたわしできれいに取る。

- ・ この作業を確実にしないと、木目がきれいに出不い。繊維方向にこすり、すずが出なくなるまでみがく。

④ 布きれでよくふき取る。

- ・ つや出しが主な目的である。

(必要に応じて)

⑤ 絵付けをする。

- ・ 木目や構図により、裏表を決める。
- ・ 全面に色をぬったり、多くの色を使ったりすることは、せっかくの焼板のよさをそこなうことになるのでさける。

⑥ 色の乾燥を十分にする。

⑦ 作品を完成させる。

- ・ 焼板の用途に応じて、穴をあけたり、くさりやひも等で装飾をする。（置物、壁掛け 等）

＜後始末方法＞

- ① 穴のあいていない一斗缶に水を1／3入れる。
- ② かまどの燃えかすや灰などを「十能」と「ほうき」で集め、水を入れた一斗缶に入れ、よくかき混ぜて消火する。
- ③ 灰捨て場に一斗缶の中身を水ごと捨てる。
- ④ かまどの床のゴミを外に掃き出し、レンガ等を整頓して終了。



27 竹けん玉

青森県立種差少年自然の家

○活動の概要○

のこぎりや小刀などの道具を使って竹けん玉をつくります。完成後にみんなで遊びます。

1 ねらい

道具の使い方を体験しながら、古くから伝わるおもちゃをつくったり、遊んだりする楽しさを感じさせます。

2 場所・人数・期間・時間

① 場所・人数 プレーホール、大ホール 150人以内 自然観察室、小ホール 40人以内
(1グループ4～8人程度) ※5グループくらいに指導者が一人つく。

② 期間 通年

③ 時間 2時間

3 職員の支援について

物品貸出し時に職員がつきます。活動支援に入ることはありません。

4 準備物

区 分	準 備 物	備 考
団 体	・特になし	
個 人	・軍手	
自然の家	・ブルーシート、竹切り台、作業用の下敷板、 のこぎり、ナタ、小刀、きり、はさみ	
斡旋可能	・竹けん玉セット (竹1本、たこ糸60cm)	1セット130円

5 引率者の役割分担

係 名	役 割
代表責任者	・全体の掌握、職員との連絡調整にあたる。
救護係	・緊急時の救護にあたる。

6 活動の流れ

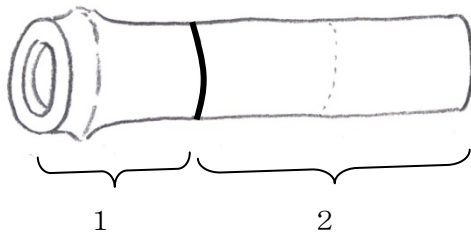
- ① 用具の準備と諸注意
- ② つくり方の説明
- ③ 製作
- ④ 遊ぶ
- ⑤ まとめ・片づけ

7 その他

- ・初めてナタを使う人には、十分に使い方を指導しましょう。
- ・ナタを使うときは、刃の下に手をおかないでください。
- ・刃物を使うときは、刃を人に向けてないでください。
- ・使用したナタ、のこぎり、小刀、きりは、油をしみこませた布で刃の部分をふきます。

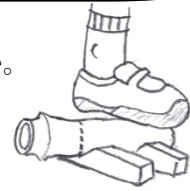
《資料》竹けん玉のつくり方

1 竹を切る。



節から1/3ぐらいのところをのこぎりで切りはなす。

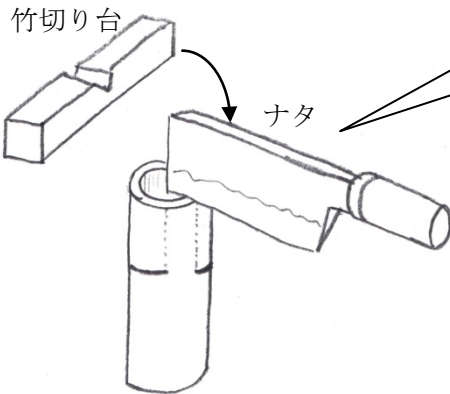
※足で踏んでもらうと切りやすい。



2 剣をつくる。



筒になった方（切り取った長い方）の真ん中を1～2 cm 幅の竹を残すように切る。

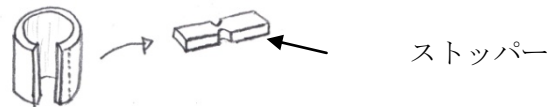


ナタで余分な部分を切り落とす。

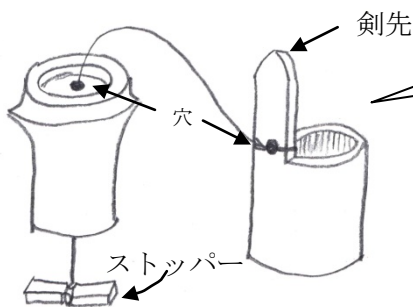
（左手に竹切り台、右手にナタを持ち、竹にあてたナタを上からたたく）

小刀を使って剣先を丸くする。

残りの竹をナタで割り、小刀でけずってストッパーをつくる。



3 ひもで結ぶ。



剣の付け根と玉に、きりで穴をあける。

両方を60 cm程度のひもで結ぶ。

4 竹けん玉遊びをする。



柄のところを親指と人差し指で軽くはさむようにして持ち、集中して、剣に玉を入れる。



28 竹とんぼ

青森県立種差少年自然の家

○活動の概要○

糸のこぎりや小刀などの道具を使って竹とんぼをつくります。完成後にみんなで遊びます。

1 ねらい

道具の使い方を体験しながら、古くから伝わるおもちゃをつくったり、遊んだりする楽しさを感じさせます。

2 場所・人数・期間・時間

- ① **場所・人数** プレーホール、大ホール 150人以内、自然観察室、小ホール 40人以内
(1グループ4～8人程度)
- ② **期間** 通年
- ③ **時間** 2時間

3 職員の支援について

物品貸出し時に職員がつきます。活動支援に入ることはありません。

4 準備物

区 分	準 備 物	備 考
団 体	・特になし	
個 人	・軍手	
自然の家	・ブルーシート ・のこぎり ・小刀	
斡旋可能	・竹とんぼセット (羽、軸、紙ヤスリ、ろうそく、瞬間接着剤等)	1セット50円

5 引率者の役割分担

係 名	役 割
代表責任者	・全体の掌握、指揮、連絡にあたる。
救護係	・緊急時の救護にあたる。

6 活動の流れ

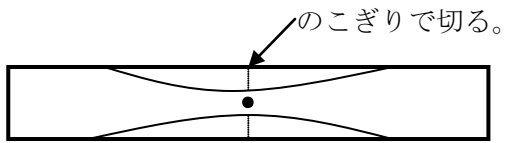
- ① 用具の準備と諸注意
- ② つくり方の説明
- ③ 製作
- ④ 遊ぶ
- ⑤ まとめ・片づけ

7 その他

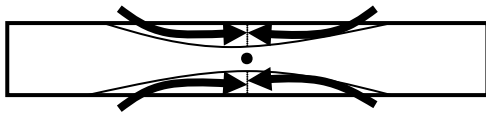
- ・刃物を使うときは、刃を人に向けないでください。
- ・使用したのこぎり、小刀は、油をしみこませた布で刃の部分をふきます。

《資料》竹とんぼのつくり方

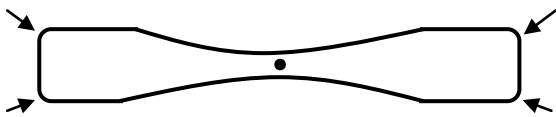
- 1 のこぎりで切り込みを入れる。



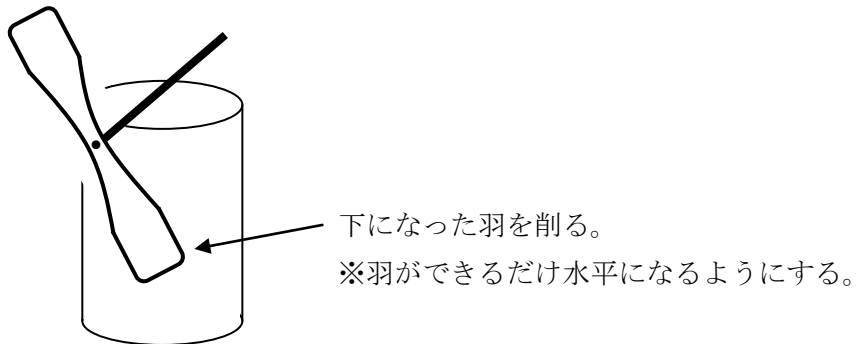
- 2 小刀で削る。
小刀を親指で押して削る。



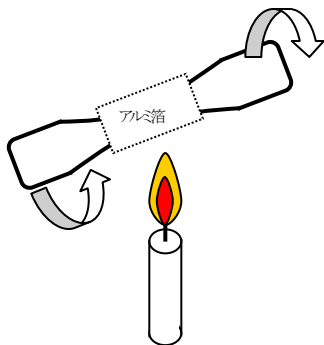
- 3 四隅を丸く削る。



- 4 軸をさし、台の上に置いてバランスを見る。
下を向いている方が重いので、紙ヤスリで裏面を削る。



- 5 アルミ箔を巻き、中央を熱しゆっくりとひねる。



- 6 軸をさし、回転バランスを確認した後、瞬間接着剤を1滴つけて固める。





29 ぐにゃぐにゃ凧

青森県立種差少年自然の家

○活動の概要○

ポリシートと竹ひごを使って、簡単にあがる凧をつくります。その後、野外で凧あげをして楽しめます。

1 ねらい

簡単な凧のつくり方を学び、自然の中で凧を飛ばすことの楽しさを感じさせます。

2 場所・人数・期間・時間

- ① 場所・人数 大ホール、プレーホール 150人以内、 自然観察室、小ホール 40人以内
(1グループ4～8人程度) ※5グループくらいに指導者が一人つく
- ② 期間 通年
- ③ 時間 2～3時間

3 職員の支援について

物品貸出し時に職員がつきます。活動支援に入ることはありません。

4 準備物

区 分	準 備 物	備 考
団 体	・油性マジック	
個 人	・特になし	
自然の家	・ラジオペンチ ・はさみ ・型紙 ・きり	
斡旋可能	・ぐにゃぐにゃ凧セット (ポリシート、竹ひご1本、凧糸1巻、セロハンテープ、マジック)	・1セット110円

5 引率者の役割分担

係 名	役 割
代表責任者	・全体の掌握、指揮、連絡にあたる。
救護係	・緊急時の救護にあたる。

6 活動の流れ

- ① 用具の準備と諸注意
- ② つくり方の説明
- ③ 製作
- ④ 片づけ
- ⑤ 凧あげ
- ⑥ まとめ

《資料》ぐにゃぐにゃ風のつくり方

① ゴミ袋をはさみで二枚に切る



② 1枚のゴミ袋の上に型紙をおき
外側をなぞる



③ 線にそってのはさみで切る



④ ラジオペンチの根本の刃で、
約3 cmの竹ひごを2本切る



⑤ 切った約3 cmの竹ひごを
セロハンテープではる



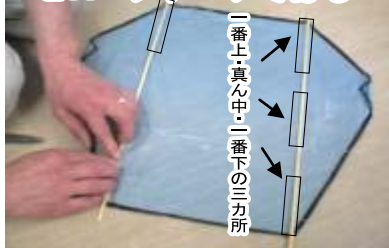
⑥ 折り曲げて、さらにセロハン
テープをはる(両側2カ所)



⑦ 竹ひごを上下1 cmぐらい
出る長さで切る



⑧ 同じ長さを2本切ったら
セロハンテープではる



⑨ 約3 cmの竹ひごの内側
にキリで穴をあける



⑩ たこ糸を約1 mの長さ
で切る



⑪ 切ったたこ糸を両側の
穴にむすぶ



⑫ 切ったたこ糸の真ん中に
むすんで輪をつくる



⑬ むすんでつくった輪に長いこ糸を
「ひきとけむすび」する



⑭ 好きな絵をかいて完成



たぐれば真ん中がわかる



30 シュリンクシートのストラップ

青森県立種差少年自然の家

○活動の概要○

プラスチック板に絵を描き、加熱して縮めてオリジナルストラップをつくります。

1 ねらい

自分だけのストラップをつくることを通して、創作の楽しさを感じさせます。

2 場所・人数・期間・時間

- ① 場所・人数 大ホール、プレーホール 150人以内、自然観察室、小ホール 40人以内
(1グループ8人程度)
- ② 期間 通年
- ③ 時間 1～2時間

3 職員の支援について

物品貸出し時に職員がつきます。活動支援に入ることはありません。

4 準備物

区 分	準 備 物	備 考
団 体	・特になし	
個 人	・特になし	
自然の家	・オーブントースター ・アルミホイル ・はさみ ・穴あけパンチ ・軍手	
斡旋可能	・ストラップセット (A5シュリンクシート、ストラップ1人2個、色 鉛筆、マジック)	・1セット120円 (シートのみ90円)

5 引率者の役割分担

係 名	役 割
代表責任者	・全体の掌握、指揮、連絡にあたる。
救護係	・緊急時の救護にあたる。

6 活動の流れ

- ① 用具の準備と諸注意
- ② つくり方の説明
- ③ 製作
- ④ まとめ・片づけ

7 その他

- ・シュリンクシートは1枚で2個作ることができます。
- ・ストラップは1人2個になります。
- ・トースター(800w)を使用できる数
自然観察室 … 横のコンセントで2台、上のコンセントで2台
大ホール … 横のコンセントで2台、床のコンセントで2台、(床のコンセントで2台)
小ホール … 横のコンセントで2台
※ 一つの経路のコンセントで、2,000Wまで使用できます。

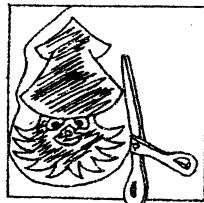
《資料》シュリンクシートのストラップの作り方

- 1 シュリンクシートに絵をかくて色をつける。

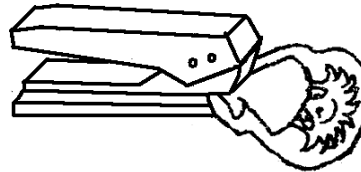
でき上がりの大きさが1/6になることを考慮して大きさを決める。



- 2 シュリンクシートを切る。

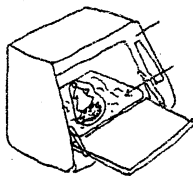


- 3パンチで穴をあける。

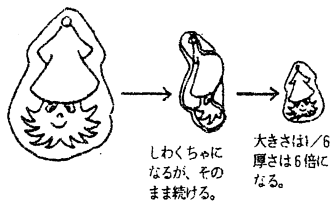


- 4 オープントースターに入れる。

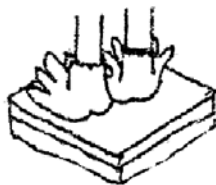
あらかじめ温めておいたオープントースターにアルミホイルを敷いて作品をのせる。



ふたをして温めると、10秒程度の間に次のように変化する。



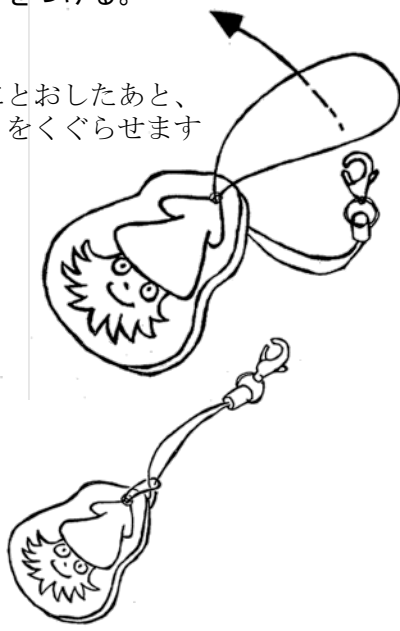
- 5 オープントースターからすばやく取り出し、シュリンクシートだけをアルミホイルから落として雑誌ではさみ、押さえる。



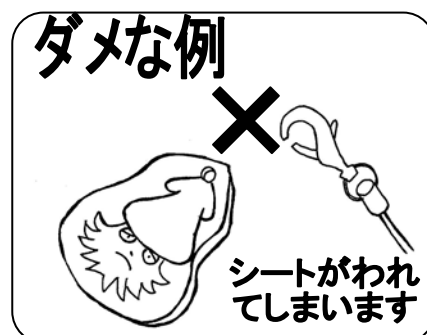
※軽く押さないとつぶれて変形してしまいます。

- 6 ストラップをつける。

※あなにとおしたあと、フックをくぐらせます



- 7 完成





31 ネイチャーストラップ

青森県立種差少年自然の家

○活動の概要○

採集してきた自然物（枝、木の実、貝がら）を加工して、ストラップを作ります。

1 ねらい

自然の素材を採取して、想像力を働かせたり、素材の持ち味を生かしたりしながら自分だけの作品をつくることにより、自然物のよさや創作の楽しさを感じさせます。

2 場所・人数・期間・時間

① **場所・人数** 大ホール 150人以内 自然観察室、小ホール 40人以内
個人でもグループでも可能（作業台は6～8人が最適）
プレーホールも可（150人以内）であるが、準備に難あり

② **期間** 通年

③ **時間** 1時間

3 職員の支援について

物品貸出し時に職員がつきます。活動支援に入ることはありません。

4 準備物

区分	準備物	備考
団体	木の実や貝がらなど、必要に応じた自然物	
個人	特になし	
自然の家	・ グルーガン本体 ・ きり ・ のこぎり、のこぎり台 ・ テーブルクロス ・ テーブルタッパ ・ 新聞紙	※作るストラップの種類により、準備物は異なります(次ページ作り方参照)。
斡旋可能	・ ネイチャーストラップセット (どんぐり等自然物、グルーガン用替芯、ペイントマーカー、ストラップ、ヒートン、サンドペーパーなど)	・ 1セット30円

5 引率者の役割分担

係名	役割
代表責任者	・ 全体の掌握、指揮、連絡にあたる。
救護係	・ 緊急時の救護にあたる。

6 活動の流れ

- ① 用具の準備と諸注意
- ② つくり方の説明
- ③ 製作
- ④ まとめ・片づけ

7 その他

- ・ 季節、天候によっては、自然の家の周りでどんぐり等を採集することもできます。ただし、採ったどんぐりからは虫が出てくるので、自然の家で煮沸したどんぐりと交換して使います。

《資料》

○どんぐりストラップの作り方

- ①ペイントマーカーなどでどんぐりに色をぬる。
- ②きりで穴をあけ、グルーガンでヒートンをつける。
- ③ストラップをつけて完成。

どんぐりストラップ

どんぐりの他に、トチノミやクリなどでもできます！

拾ってきた木の実は、自然の家で交換してもらおう。

○貝がらストラップの作り方

- ①ペイントマーカーなどで貝がらに色をぬる。
- ②グルーガンでヒートンをつける（形によってはヒートンが必要ない場合もある）。
- ③ストラップをつけて完成。

貝がらストラップ

貝がら以外にも、海辺で拾ったシーグラスやカニの殻などでもOK！

貝がらストラップは、穴をあけずにヒートンをつけるか、ストラップを直接つけて作ります。その貝がらにあった付け方を見つけよう！

○年輪ストラップの作り方

- ①木の枝を5mm以上の厚さで輪切りにする。
- ②サンドペーパーで年輪がきれいに見えるまで磨く。
- ③きりで穴をあけ、グルーガンでヒートンをつける。
- ④ストラップをつけて完成。

年輪ストラップ



がんばってこするといい作品ができますよ！



穴を深くしすぎると割れるので注意！





32 割りばし鉄砲

青森県立種差少年自然の家

○活動の概要○

割りばしと輪ゴムを使って鉄砲をつくります。その後、的当てなどをして遊びます。

1 ねらい

身近にある割りばしや輪ゴムを使って手づくりのおもちゃを作り、手づくりのおもちゃで遊ぶ楽しさを感じさせます。

2 場所・人数・期間・時間

- ① 場所・人数 大ホール、プレーホール 150人以内 自然観察室、小ホール 40人以内
(1グループ4～8人程度)
- ② 期間 通年
- ③ 時間 1～2時間

3 職員の支援について

物品貸出し時に職員がつきます。活動支援に入ることはありません。

4 準備物

区 分	準 備 物	備 考
団 体	・特になし	
個 人	・特になし	
自然の家	・小刀 ・的 ・テーブルクロス ・カッター板	
斡旋可能	・割りばし鉄砲セット (割りばし2、輪ゴム8、紙やすり)	・1セット10円

5 引率者の役割分担

係 名	役 割
代表責任者	・全体の掌握、指揮、連絡にあたる。
救護係	・緊急時の救護にあたる。

6 活動の流れ

- ① 用具の準備と諸注意
- ② つくり方の説明
- ③ 製作
- ④ 遊ぶ(競技会等)
- ⑤ まとめ・片づけ

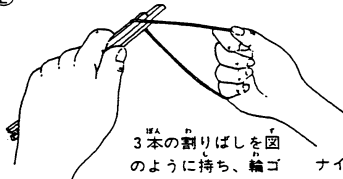
7 その他

- ・刃物の使い方を指導し、作業では安全確保に努めさせてください。
- ・遊ぶときは、他の人に向けて発射しないようにさせましょう。

《資料》割りばし鉄砲のつくり方

① 2本の割りばしを割って4本にする。

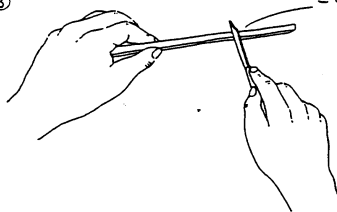
②



3本の割りばしを図のように持ち、輪ゴムをねじりながらきつくなるまで巻く。

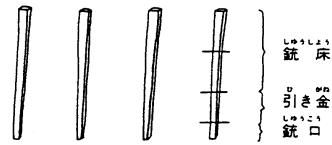
ナイフを上からおさえつけないで、割りばしにきずをつけることができる。

③



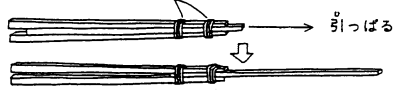
割りばしの折り方

図のように割りばしをおさえて、ナイフで割りばしの四面にきずをつけると、きれいに折れる。

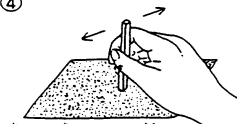


3本で銃身を作る。四つに折る(③を参照)。

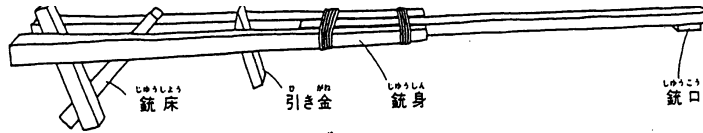
輪ゴムは2こ巻きつける。



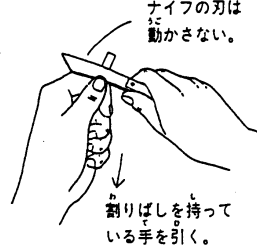
④



折った割りばしの先はまだぎざぎざしているの、紙やすりで図のようにみがく。



⑤ 引き金の先をけずる。えんぴつをけずるように、割りばしの先をななめにけずる。

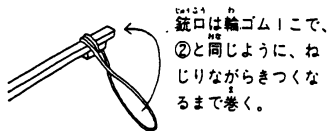


ナイフの刃は動かさない。

ななめにけずっていると、輪ゴムが飛びやすい。



⑥ 銃口、引き金、銃床を銃身に輪ゴムでとめる。

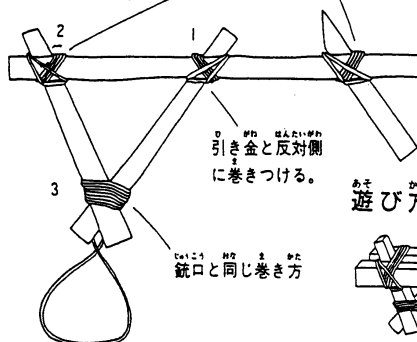


銃口は輪ゴム1こで、②と同じように、ねじりながらきつくなるまで巻く。

引き金は、輪ゴムを図のように巻きつける。

同じ巻き方

銃床は、1・2・3の順に輪ゴムを巻きつける。



引き金と反対側に巻きつける。

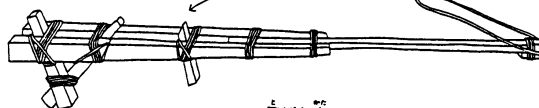
あそび方

銃口と同じ巻き方

この輪ゴムの巻き方だと、自然に引き金が左ななめにかたむくので玉(輪

ゴム)をこめても、引き金を引かないかぎり、玉は飛ばない。

玉のこめ方 銃口に輪ゴムを引っかけて引き金まで持っていく。



飛ばし方

ねらいをつけて引き金を入し指で軽く引く。



33 どんぐりアート

青森県立種差少年自然の家

○活動の概要○

台座の上に、どんぐりや木の枝をグルーガンで接着して作品をつくります。

1 ねらい

自然の素材を採取して、想像力を働かせたり、素材の持ち味を生かしたりしながら自分だけの作品をつくることにより、自然物のよさや創作の楽しさを感じさせます。

2 場所・人数・期間・時間

- ① 場所・人数 大ホール 150人以内 自然観察室、小ホール 40人以内
個人でもグループでも可能（作業台は6～8人が最適）
プレーホールも可（150人以内）であるが、準備に難あり
- ② 期間 通年
- ③ 時間 2～3時間

3 職員の支援について

物品貸出し時に職員がつきます。活動支援に入ることはありません。

4 準備物

区分	準備物	備考
団体	木の枝や松ぼっくりなど、必要に応じた自然物	
個人	特になし	
自然の家	・グルーガン本体 ・ピンセット ・カッター ・ラジオペンチ ・のこぎり ・のこぎり台 ・テーブルクロス ・テーブルタップ ・新聞紙	・7台
斡旋可能	・どんぐりアートセット (どんぐり・丸太などの自然物、グルーガン用替芯、 ペイントマーカー)	・1セット35円

5 引率者の役割分担

係名	役割
代表責任者	・全体の掌握、指揮、連絡にあたる。
救護係	・緊急時の救護にあたる。

6 活動の流れ

- ① 用具の準備と諸注意
- ② つくり方の説明
- ③ 製作
- ④ まとめ・片づけ

7 その他

- ・季節、天候によっては、自然の家の周りでどんぐりなどの木の実を採集することもできます。ただし、採ったどんぐりからは虫が出てくるので、自然の家で煮沸したどんぐりと交換して使います。

《資料》

どんぐりアート の作り方

- ①どんぐりにおなかを描いてぬる。
- ②どんぐりに目を描いてぬる。
- ③どんぐりにおなかのしわなどを描く。
- ④ひまわりの種等をグルーガンでつける。



作品例



プードル
胴体：カラマツ
足・頭・しっぽ：ヤシャブシ
目：木の实



ヒツジ
胴体：ヤシャブシ
顔：どんぐり、頭：殻斗
耳：ひまわりの種、腕：枝



トトロ
本体：どんぐり
耳：ひまわり
帽子：殻斗



かぶとむし&くわがたむし
胴体：どんぐり
頭部：殻斗
つの・足：枝



ネコとネズミ
胴体：どんぐり
ネコの頭：トチノミかクヌギ
ネコの耳：ひまわりの種
ネズミの耳：殻斗
しっぽ・ひげ：枝



34 石ころアート

青森県立種差少年自然の家

○活動の概要○

石をグルーガンで接着し、色をぬって動物や魚などの作品をつくります。

1 ねらい

自然の素材を採取して、想像力を働かせたり、素材の持ち味を生かしたりしながら自分だけの作品をつくることにより、自然物のよさや創作の楽しさを感じさせます。

2 場所・人数・期間・時間

- ① 場所・人数 大ホール 150人以内 自然観察室、小ホール 40人以内
個人でもグループでも可能（作業台は6～8人が最適）
プレーホール（150人以内）も可。準備に難あり
- ② 期間 通年
- ③ 時間 2～3時間

3 職員の支援について

物品貸出し時に職員がつきます。活動支援に入ることはありません。

4 準備物

区分	準備物	備考
団体	特になし	
個人	特になし	
自然の家	・グルーガン本体（大） ・テーブルクロス ・テーブルタップ ・新聞紙	
斡旋可能	・石ころアートセット （石、グルーガン用替芯、ペイントマーカー、 目玉小）	・1セット60円

5 引率者の役割分担

係名	役割
代表責任者	・全体の掌握、指揮、連絡にあたる。
救護係	・緊急時の救護にあたる。

6 活動の流れ

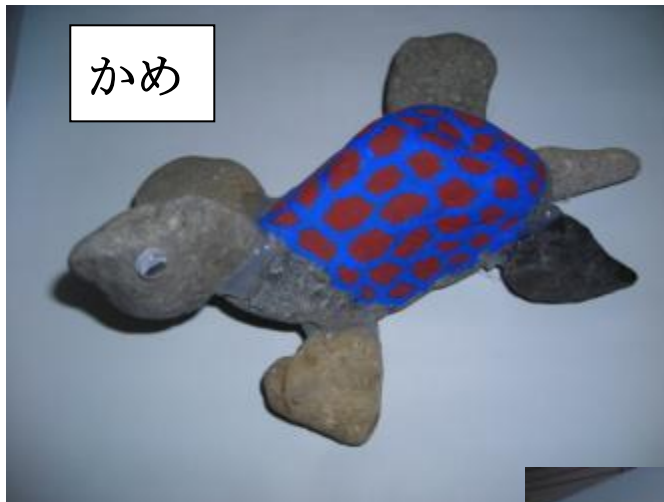
- ① 用具の準備と諸注意
- ② つくり方の説明
- ③ 製作
- ④ まとめ・片づけ

7 その他

- ・季節、天候によっては、自然の家の周りで石を採集することもできますが、海岸での多量の石の採集はご遠慮ください。

《資料》石ころアートのつくり方

- ①石を選び、その上に目玉を置いてみて、出来上がりを想像する。
- ②石をグルーガンでくっつける。
- ③②に目玉や色をつける。



児童作品





35 貝がらアート

青森県立種差少年自然の家

○活動の概要○

貝がらをグルーガンで接着し、色をぬって動物や魚などの作品をつくります。

1 ねらい

自然の素材を採取して、想像力を働かせたり、素材の持ち味を生かしたりしながら自分だけの作品をつくることにより、自然物のよさや創作の楽しさを感じさせます。

2 場所・人数・期間・時間

- ① 場所・人数 大ホール 150人以内 自然観察室、小ホール 40人以内
個人でもグループでも可能（作業台は6～8人が最適）
プレーホール（150人以内）も可。準備に難あり
- ② 期間 通年
- ③ 時間 2～3時間

3 職員の支援について

物品貸出し時に職員がつきます。活動支援に入ることはありません。

4 準備物

区分	準備物	備考
団体	特になし	
個人	特になし	
自然の家	・グルーガン本体 ・テーブルクロス ・テーブルタップ ・新聞紙	
斡旋可能	・貝がらアートセット (貝、グルーガン用替芯、ペイントマーカー、目玉小)	・1セット35円

5 引率者の役割分担

係名	役割
代表責任者	・全体の掌握、指揮、連絡にあたる。
救護係	・緊急時の救護にあたる。

6 活動の流れ

- ① 用具の準備と諸注意
- ② つくり方の説明
- ③ 製作
- ④ まとめ・片づけ

7 その他

・海岸で貝がらを採集することもできますが、多量の採集はご遠慮ください。

《資料》
貝からアート作品例





36 動物マグネット

青森県立種差少年自然の家

○活動の概要○

木の枝を切ったり削ったりして作った部品を使い、動物や昆虫などのマグネット作品をつくります。

1 ねらい

木片を組み合わせて作品をつくる活動を通して、創意工夫する楽しさを感じさせます。また、木片の部品をつくる活動を通して、安全な工具の扱い方を体験させます。

2 場所・人数・期間・時間

- ① 人数 大ホール 150人以内 自然観察室、小ホール 40人（1グループ6～8人程度）
プレーホール（150人以内）も可。準備に難あり
- ② 期間 通年
- ③ 時間 1時間30分～2時間

3 職員の支援について

物品貸出し時に職員が説明を行うことができます。活動支援に入ることはありません。

4 準備物

区 分	準 備 物	備 考
団 体	・特になし	
個 人	・軍手	
自然の家	・木や枝など ・グルーガン本体 ・ニッパー ・ラジオペンチ ・のこぎり&のこぎり台 ・ナタ&敷板&竹切り台 ・小刀 ・テーブルクロス ・テーブルタップ ・新聞紙	・季節、天候によっては、自然の家の周りで材料を採集することもできます。
幹旋可能	・動物マグネットセット （グルーガン用替芯、マグネット、 目玉小、油性ペン）	・1セット35円

5 引率者の役割分担

係 名	役 割
代表責任者	・全体の掌握、指揮、連絡にあたる。
救護係	・緊急時の救護にあたる。

6 活動の流れ

- ① 用具の準備と諸注意
- ② つくり方の説明
- ③ 製作
- ④ まとめ・片づけ

7 その他

- ・ グルーガンの先端は160℃になるので、やけどに注意してください。
- ・ 木の切断作業等の工具の取扱いは、指導者のもと注意して行ってください。
- ・ 作品が重すぎるとマグネットが支えられなくなるので、注意してください。
- ・ 作品を飾った時、安定するように作品上部にマグネットを接着してください。

《資料》動物マグネットの作り方

- ①作品イメージをふくらませる。
- ②枝等を切ったり、削ったりして木片の部品を作る。
- ③木片の部品をグルーガンで組み立てる。
- ④マグネット1個、目玉小2個を受け取る。
- ⑤目玉のシールをはがし、つける。グルーガンで作品の裏にマグネットをつける。

作品例



・ たぬき
(輪切り中2、輪切り小4)



・ くま
(輪切り中2、輪切り小5)



・ たぬき
(輪切り中2、輪切り小4
長楕円1、小枝4)



・ ねずみ
(輪切り中2、輪切り小4、小枝4)



・ ライオン
(輪切り中1、小枝4、松ぼっくり1)



・ クワガタ虫
(円柱1、足の小枝6、角の小枝2)



・ カブト虫
(円柱1、足の小枝6、二股小枝1)



・ せみ (円柱1、長楕円2)



37 ペットボトルちょうちん

青森県立種差少年自然の家

○活動の概要○

ペットボトルを切ったり模様を付けたりして、ちょうちんをつくります。

1 ねらい

ペットボトルを利用して、絵柄を工夫しながらちょうちんをつくることを通して、手作りのものを使って遊ぶ楽しさを感じさせます。

2 場所・人数・期間・時間

- ① 人数 大ホール、プレーホール 150人以内 自然観察室、小ホール 40人以内
(1グループ4～8人)
- ② 期間 通年
- ③ 時間 1～2時間

3 職員の支援について

物品貸出し時に職員がつきます。活動支援に入ることはありません。

4 準備物

区分	準備物	備考
団体	・針金またはひも ・木ねじ(長さ3～4cm程度のもの) ・棒(ちょうちんをぶらさげるさお) ・必要に応じてマジック	
個人	・大きいペットボトル(1.5ℓか2ℓ)1本	
自然の家	・カッター ・はさみ ・穴あけパンチ ・ラジオペンチ ・ドライバー ・テーブルクロス	
斡旋可能	・ろうそく(小)	・1本20円

5 引率者の役割分担

係名	役割
代表責任者	・全体の掌握、指揮、連絡にあたる。
救護係	・緊急時の救護にあたる。

6 活動の流れ

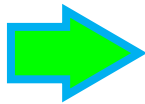
- ① 用具の準備と諸注意
- ② つくり方の説明
- ③ 製作
- ④ まとめ・片づけ

7 その他

- ・ナイトハイクで利用することができます。

《資料》ペットボトルちょうちんの作り方

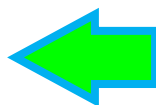
①ラベルをはがし、ペットボトルの底から13 cmのところに線を引きます。



②カッターで3 cmくらいの切れ目を入れて、はさみで切ります。



④キャップにろうそくをつけ、反射テープを貼りペンなどでイラストや模様を入れ、切り取ったペットボトルにひもと棒をつけ、重ねて完成！



③瞬間接着剤でねじをくっつけてから、グルーガンでさらにねじを固定します。

